

## 目 次

はしがき

序 章 政策波及論が見落としてきたもの……………	1
1 研究の死角	1
2 促進と抑制の政策波及メカニズム	4
3 研究の方法	5
4 本書の貢献	8
5 本書の構成	9

---

### 第 I 部 「負の政策波及」論

---

第 1 章 正の政策波及と「負の政策波及」	17
1 政府間関係論と政策波及論	17
2 日本の政策波及論のレビュー	18
(1) 動的相互依存モデルと後続の研究の貢献	(2) 動的相互依存モデル では説明できなかった政策波及
3 新モデルの提示——政策波及メカニズム研究と異時点間選択研究からの再解釈	29
(1) 政策波及メカニズム研究のレビュー	(2) 政策イノベーションの抑 制研究のレビュー (3) 「負の政策波及」を説明しうる政策波及の「近未 来予測モデル」の提示
4 本書の課題——「負の政策波及」はあるのか	44
(1) 取り組むべき課題——先行研究が十分に説明できなかった抑制の説明	
(2) 研究の方法——複数の手法の併用による証拠の「追跡」	

---

## 第Ⅱ部 スピルオーバーによる抑制の証拠——障害者差別解消条例

---

第22章 歴史とデータ——誰がいつどんな条例を制定したか……………	55
1 障害者差別解消条例とは	55
2 条例制定時期と内容の分析（コーディング）	60
3 条例内容の分析（条例詳細度）	61
4 条例内容の分析（条例類似度）	62
(1) クラスタ分析    (2) 政策間距離	
5 議論——抑制が疑われる現象を観察	65
第23章 比較事例研究——条例制定の現場で何が起きていたか……………	70
1 比較事例研究の概観	70
2 宮崎県——時間がかかった条例制定	72
(1) 初期の条例づくり運動    (2) 「障害者の差別をなくす条例をつくる会・宮崎」の設立    (3) 障害者差別解消条例の制定    (4) 条例施行後の取り組み	
3 茨城県——スムーズだった条例制定	84
(1) 初期の条例づくり運動    (2) 「茨城に障害のある人の権利条例をつくる会」の設立    (3) 障害者権利条例の制定    (4) 条例施行後の取り組み	
4 議論——抑制が強く作用する自治体とそうでない自治体	93
第24章 議会会議録の分析——どの自治体が何を参照していたか……………	98
1 議会会議録分析の概観	98
2 計量テキスト分析——抑制が強く作用した自治体は外向性が高いか	99
3 定性的な検討——抑制の強弱による議論の差異	104
(1) 第Ⅰ群の（抑制が弱く作用したことが考えられる）自治体    (2) 第Ⅱ群の（抑制が強く作用したことが考えられる）自治体	
4 第Ⅱ部のまとめ——スピルオーバーによる抑制の証拠の発見	155
第Ⅱ部全体のまとめ	

---

**第Ⅲ部 リソース・フローによる抑制の証拠——ホームレス支援政策**


---

**第Ⅴ章 歴史とデータ——ホームレス支援政策と「福祉の磁石」の真偽………161**

- 1 ホームレス支援政策の歴史と性質 161
  - (1) ホームレス支援政策小史 (2) 現在のホームレス支援政策の基盤
  - (3) ホームレス支援政策の性質
- 2 合成コントロール法による「福祉の磁石」効果の分析 172
  - (1) 方法とデータ (2) 分析結果——「福祉の磁石」は作用した
- 3 議論——抑制を引き起こしうる「福祉の磁石」効果の確認 182

**第Ⅵ章 比較事例研究——誰が「福祉の磁石」を警戒したか………192**

- 1 比較事例研究の概観 192
- 2 福岡市——時間がかかった政策形成 195
  - (1) ホームレス支援の一定の進展——ホームレス自立支援法施行前 (2) ホームレス支援政策の停滞 (3) ホームレス自立支援政策の本格実施(2009年) (4) その後の展開
- 3 北九州市——スムーズだった政策形成 215
  - (1) 排除か「適性化」か——ホームレス自立支援法施行前 (2) 進むホームレス支援とほぼ維持された生活保護「適正化」 (3) ホームレス自立支援政策の本格実施(2004年) (4) その後の展開
- 4 議論——抑制が強く作用する自治体とそうでない自治体 235

**第Ⅶ章 議会会議録の分析——「福祉の磁石」はいかに議論されたか………246**

- 1 計量テキスト分析——抑制が強く作用した自治体は外向性が高いか 246
- 2 定性的な検討——抑制が強く作用したと考えられる自治体での議論 250
- 3 第Ⅲ部のまとめ——リソース・フローによる抑制の証拠の発見 252  
第Ⅲ部全体のまとめ

**終章 それは誰のための抑制か………257**

- 1 本書のまとめ——「負の政策波及」は作用した 257

政策波及の再解釈可能性

- 2 残された課題 260
- 3 現実社会への示唆——「仕事」ではなく市民と向き合う 262

参考文献 265

あとがき 273

人名索引 277

事項索引 280